

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 公益財団法人 神戸 YWCA

1. 事業名称

神戸 YWCA「地域の日本語」プロジェクト

2. 事業の目的

日本は多文化共生の時代に入っている。さまざまな国籍の外国人との共生により、日本社会は新しい局面を開くことができるだろう。地域に生きる外国人が、日本での生活に必要な日本語を習得し、また地域のNGOや行政の支援を受けて、自立して生活できるようになることを目指す。

3. 事業内容の概要

日本で生活するために効率的に日本語を学ぶための授業が求められている。その視点に立った教材開発を進めるとともに、その視点から指導法を考えることができるボランティアの養成を行う。養成プログラムには、「学校に入るための日本語」のクラスや「生活・就労のための基礎日本語」のクラスへの参観・参加を含み、実際の学習者に触れる演習を実施する。

「学校に入るための日本語」講座では、学校に在学中であるが日本語力の不足により授業についていけない生徒・自国で中学を卒業後来日し、高校受験がかなわない生徒が対象になる。日本語を学ぶことにより学科が理解できるようになることを目指す。

また「生活・就労のための基礎日本語」講座では、日本に馴染めず自立して生活できない外国人、そのために就労できない外国人が対象である。単なる生活日本語ではなく、自立した生活・就労に直結したかたちでの日本語学習を実施する。この講座では、行政等(区役所、ハローワーク、外国人支援 NPO など)とのリンクを目指す。それらの協力により、地域で自立して暮らせることにつなぐことを目的とする。夫々の日本語の授業実践を経て、最終的に教材を仕上げる。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成24年7月20日 15:00～17:00	2時間	神戸YWCA会館	斎藤明子、八乙女悦範、 落合勝、青木理恵子、 福井武司	①事業の背景の説明 ②各団体、機関における外 国人生活者の課題と現状 の共有	①外国人児童・生徒の学習日本語の不足、外国人生活者の 就労に向けた日本語支援の必要性について（求職者支援訓 練実施を踏まえ） ②外国人生活者の生活保護受給率について、外国人労働者 の現状と背景、外国人生活者の医療支援の現状と課題、外 国人生活者の生活支援の現状と課題
2	平成24年10月3日 15:00～17:00	2時間	神戸YWCA会館	斎藤明子、八乙女悦範、 石原久生、水野マリ子、青木 理恵子、村西優希	①実施完了取組の報告・課題 の共有 ②「生活・就労のための基礎日 本語」クラス見学	①「学校に入るための日本語」、「ボランティア養成講座」の報 告と課題の共有・今後に向けた意見交換 ②「生活・就労のための基礎日本語」における受講生のモチ ベーション維持に関する課題の共有と意見交換
3	平成24年11月28日 14:00～16:00	2時間	神戸YWCA会館	斎藤明子、村西優希、 水野マリ子、八乙女悦範、 石原久生、青木理恵子	各取組の報告・課題共有 将来の展望に関する協議	取組の報告・見えてきた課題の共有を踏まえ、今後の事業を 継続させるために必要な情報共有とネットワーク構築につ いて。 事業の必要性について：今後もニーズは増加するため、団体・ 機関の枠を超えたネットワーク、支援体制構築するために 必要な具体的な取組と体制作りについて

【写真】



5. 日本語教室の設置・運営

- (1) 講座名称 「生活・就労のための基礎日本語」
- (2) 目的・目標

日本に馴染めず自立して生活できない外国人、そのために就労できない外国人のために、単なる生活日本語ではなく、自立した生活・就労に直結したかたちでの日本語学習を実施する。また、この講座では行政等（区役所、ハローワーク、外国人支援NPOなど）とのリンクを目指す。それらの協力により、地域で自立して暮らせるようにつなぐことを目的とする。

- (3) 対象者 来日してから正式な日本語教育を受けていない16歳以上の外国人
- (4) 開催時間数(回数) 75.6 時間 (全 14 回)
- (5) 使用した教材・リソース
「みんなの日本語初級改訂版Ⅰ・Ⅱ」、「いっぽにほんごさんぽ」、絵カード 他
- (6) 受講者の総数 20 人
(出身・国籍別内訳 中国 5 人, 韓国 3 人, フィリピン 3 人, パキスタン 2 人、メキシコ 1 人、トルコ 1 人、フランス 1 人、米国 1 人、ペルー 1 人, ハンガリー 1 人、日本 1 人)
- (7) 受講者の募集方法
案内・募集チラシを作成し、神戸市内、阪神間の日本語ボランティア教室、外国人支援団体、神戸市各区役所、ハローワーク等に配布。
- (8) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者数	講師又は指導者名	補助者数	補助者	備考
1	平成24年9月11日 10:00～13:00	2.7時間	神戸YWCA会館	10人	パキスタン(2人)、フィリピン、アメリカ、日本、トルコ、フランス、韓国、メキシコ、中国(各1人)	挨拶、数字、文字	挨拶(自己紹介等日常必要な挨拶) 数字(0～99) 年齢を聞く 文字(ひらがな あかが行)	1名	斎藤 明子	0名		
	平成24年9月11日 14:00～17:00	2.7時間	神戸YWCA会館	10人	中国(4人)、フィリピン(2人)、韓国(2人)、ハンガリー、ベルー(各1人)	自己紹介、依頼文。状況を述べる文、文字	自己紹介 文字(表記の確認) 会話(依頼と指示、許可を得る、状況を述べる)	1名	桜井 かおり	0名		
2	平成24年9月12日 10:00～13:00	2.7時間	神戸YWCA会館	11人	パキスタン(2人)、中国(2人)、フィリピン、アメリカ、日本、トルコ、フランス、韓国、メキシコ(各1人)	名詞文、文字、数字	前回の復習 数字(100～10000) 文字(さ、ざ行+ん) 会話(こそあ、曜日)	1名	畠山 美智子	1名	斉藤明子	
	平成24年9月12日 14:00～17:00	2.7時間	神戸YWCA会館	9人	中国(4人)、フィリピン(2人)、韓国、ハンガリー、ベルー(各1人)	試みる遺憾を表す表現 文字、読解	前回の復習 文字(長音の確認) 会話(習慣の～ています、～てみたいです。～てしまいました等を組み合わせた会話)、読解と会話	1名	畠山 美智子	0名		
3	平成24年9月13日 10:00～13:00	2.7時間	神戸YWCA会館	10人	パキスタン(2人)、フィリピン、アメリカ、日本、トルコ、フランス、韓国、メキシコ、中国(各1人)	名詞文、文字、数字	前回の復習 数字(大きい数字) 文字(た、だ、な行) 会話(時間の言い方、曜日)	1名	後藤 範子	0名		
	平成24年9月13日 14:00～17:00	2.7時間	神戸YWCA会館	8人	中国(3人)、フィリピン(2人)、韓国、ハンガリー、ベルー(各1人)	動詞文(普通形の確認、～とき)文字	前回の復習 文字(撥音、撥長音確認) 会話(～ときを用いた会話)	1名	後藤 範子	0名		
4	平成24年9月18日 10:00～13:00	2.7時間	神戸YWCA会館	10人	パキスタン(2人)、フィリピン、アメリカ、日本、トルコ、フランス、韓国、メキシコ、中国(各1人)	名詞文、動詞文、文字	前回の復習 文字(は、ば、ぱ行+促音) 会話(～から～まで、場所の言い方)	1名	桜井 かおり	1名	斉藤明子	
	平成24年9月18日 14:00～17:00	2.7時間	神戸YWCA会館	8人	中国(3人)、フィリピン(2人)、韓国、ハンガリー、ベルー(各1人)	仮定の表現、文字	前回の表現 文字(長音確認) 会話(～たら、～ても)	1名	桜井 かおり	0名		
5	平成24年9月19日 10:00～13:00	2.7時間	神戸YWCA会館	10人	パキスタン(2人)、フィリピン、アメリカ、日本、トルコ、フランス、韓国、メキシコ、中国(各1人)	動詞文、文字	前回の復習 文字(長音、動詞「は」) 会話(動詞の時制、期間の表現)	1名	畠山 美智子	0名		
	平成24年9月19日 14:00～17:00	2.7時間	神戸YWCA会館	8人	中国(3人)、フィリピン(2人)、韓国、ハンガリー、ベルー(各1人)	授受表現、文字	前回の復習 文字(総復習) 会話(物の授受、行為の授受)	1名	畠山 美智子	0名		
6	平成24年9月20日 10:00～13:00	2.7時間	神戸YWCA会館	9人	パキスタン(2人)、フィリピン、アメリカ、日本、トルコ、韓国、メキシコ、中国(各1人)	動詞文、文字	前回の復習 文字(ら、わ行、撥音、動詞「へ」) 会話(往來動詞、期間の会話)	1名	後藤 範子	1名	斉藤明子	
	平成24年9月20日 14:00～17:00	2.7時間	神戸YWCA会館	5人	中国(2人)、ハンガリー、韓国、ベルー(各1人)	説明を求める表現、文字	前回の表現 文字(カタカナ 確認) 会話(～んです、～んですが～)	1名	後藤 範子	0名		
7	平成24年9月25日 10:00～13:00	2.7時間	神戸YWCA会館	9人	パキスタン(2人)、フィリピン、フランス、日本、トルコ、韓国、メキシコ、中国(各1人)	動詞文、文字	前回の復習 文字(かな総復習、動詞「を」) 会話(他動詞文)	1名	桜井 かおり	0名		
	平成24年9月25日 14:00～17:00	2.7時間	神戸YWCA会館	6人	フィリピン(2人)、中国(2人)、ハンガリー、韓国(各1人)	可能な表現、文字	前回の復習 文字(カタカナ 確認) 会話(可能動詞を含んだ面接の会話)	1名	福井 武司	0名		
8	平成24年9月26日 10:00～13:00	2.7時間	神戸YWCA会館	8人	パキスタン(2人)、フィリピン、日本、中国、トルコ、韓国、フランス(各1人)	動詞文、形容詞文、文字	前回の復習 文字(かな総復習) 会話(他動詞文、形容詞文)	1名	畠山 美智子	1名	斉藤明子	
	平成24年9月26日 14:00～17:00	2.7時間	神戸YWCA会館	6人	フィリピン(2人)、中国(2人)、ハンガリー、韓国(各1人)	受け身文、文字	前回の復習 文字(カタカナ 促音確認) 会話(被害の受け身、非情の受け身)	1名	畠山 美智子	0名		
9	平成24年9月27日 10:00～13:00	2.7時間	神戸YWCA会館	9人	パキスタン(2人)、フィリピン、アメリカ、メキシコ、日本、中国、韓国、フランス(各1人)	動詞文、助数詞、文字	前回の復習 文字(カタナ ア～ザ行、長音) 会話(存在・所在文、～ています、助数詞の会話)	1名	後藤 範子	0名		
	平成24年9月27日 14:00～17:00	2.7時間	神戸YWCA会館	5人	フィリピン(2人)、中国、ハンガリー、韓国(各1人)	名詞修飾文、文字	前回の復習 文字(カタカナ 撥音確認) 会話(名詞修飾文、～ってどういう意味ですか)	1名	後藤 範子	0名		
10	平成24年10月2日 10:00～13:00	2.7時間	神戸YWCA会館	8人	パキスタン(2人)、フィリピン、メキシコ、中国、韓国、トルコ、フランス(各1人)	動詞文、位置詞、文字	前回の復習 文字(カタカナ タ・ダ・ナ行) 会話(～ています、位置詞の会話)	1名	桜井 かおり	1名	斉藤明子	
	平成24年10月2日 14:00～17:00	2.7時間	神戸YWCA会館	8人	中国(3人)、フィリピン(2人)、ハンガリー、韓国、ベルー(各1人)	敬語、文字。履歴書の書き方、面接の会話	前回の復習 文字(既習文型を用いた書き取り) 会話(謙譲語、申し出、面接会話)、履歴書の書き方準備	1名	桜井 かおり	0名		
11	平成24年10月3日 10:00～13:00	2.7時間	神戸YWCA会館	9人	パキスタン(2人)、フィリピン、メキシコ、中国、日本、韓国、トルコ、フランス(各1人)	形容詞文、文字	前回の復習 文字(カタカナ ハ・バ・パ行) 会話(印象や感想を述べる形容詞文)	1名	畠山 美智子	0名		
	平成24年10月3日 14:00～17:00	2.7時間	神戸YWCA会館	7人	中国(3人)、フィリピン(2人)、ハンガリー、韓国、(各1人)	敬語、文字、	前回の復習 文字(カタカナの特別な表記を中心に) 会話(尊敬語)	1名	畠山 美智子	0名		
12	平成24年10月4日 10:00～13:00	2.7時間	神戸YWCA会館	8人	パキスタン(2人)、フィリピン、メキシコ、中国、日本、トルコ、フランス(各1人)	名詞文形容詞文(過去)文字、病氣表現	前回の復習 文字(カタカナ マ・ヤ行+撥音) 会話(名詞文・形容詞文の過去、病氣表現、電話での連絡等)	1名	後藤 範子	1名	斉藤明子	
	平成24年10月4日 14:00～17:00	2.7時間	神戸YWCA会館	5人	フィリピン(2人)、中国、ハンガリー、韓国(各1人)	電話の会話、	前回の復習 会話(電話で使う表現—敬語を含む)	1名	後藤 範子	0名		
13	平成24年10月9日 10:00～13:00	2.7時間	神戸YWCA会館	9人	パキスタン(2人)、フィリピン、メキシコ、アメリカ、中国、日本、韓国、フランス(各1人)	動詞文(依頼・指示)、文字	前回の復習 文字(カタカナ 総復習) 会話(依頼・指示文、動詞のグループ分け)	1名	福井 武司	0名		
	平成24年10月9日 14:00～17:00	2.7時間	神戸YWCA会館	7人	中国(3人)、フィリピン(2人)、ハンガリー、韓国(各1人)	履歴書の書き方、スピーチ準備	前回の復習 会話(面接練習) 履歴書作成 スピーチ原稿作成 ポストテスト実施	1名	桜井 かおり	0名		
14	平成24年10月10日 10:00～13:00	2.7時間	神戸YWCA会館	8人	パキスタン、フィリピン、メキシコ、アメリカ、トルコ、中国、日本、フランス(各1人)	動詞文(許可)、理由を述べる	前回の復習 文字(カタカナ総復習 物品の名前を読む) 動詞文(許可を得る、理由を述べる)	1名	畠山 美智子	0名		
	平成24年10月10日 14:00～17:00	2.7時間	神戸YWCA会館	5人	中国(2人)、フィリピン(2人)、ハンガリー(1人)	変化の表現、スピーチ	スピーチ原稿のチェック 会話(変化の表現) スピーチ実施	1名	畠山 美智子	1名	斉藤明子	

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

第13日 1クラス

- ・前回の復習は、週末をはさんだので、忘れている人が多く、時間がかかった。
前回ハンドアウトの会話、「日曜日どこへ行きましたか」からのパターンで再度会話を作った。
- ・動詞絵カードで文型に使用する動詞意味確認。「見せます」の認知度が低かった。
文型「～てください」導入。耳からの日本語がある程度できているようで、特にて形の作り方などを教えなくても、シチュエーションを与えると適切な表現が出てきた。プリントで形と文の意味の確認。見せてください、見てくださいが混乱していたので、整理をした。
- ・動詞グループ分けは、今後の文型に必要な知識と判断し、導入してみた。どこまで踏み込むか難しいところだが動詞のグループ分けの表を使って確認した。
- ・表記の練習は、ディクテーション実施。

第3日 2クラス

- ・昨日の復習
- ・文型「～とき」導入と練習
形容詞(～い・～な)・名詞のときの練習。
使用語彙は眠い・頭が痛い・寂しい・暑い・ひま・～が病気・～歳。
V 辞書形・ない形+とき の練習。
「～とき、どうしますか」を使った会話を実施。パソコン、リモコンなどの使い方を聞く。
V る／V た とき の練習。
「～とき、日本人は何をあげますか」を使った会話。結婚するとき・子どもが生まれたとき・子どもが小学校に入るときなど。
- ・文作りや QA の練習は活発にできるが、会話練習は慣れていないので、すぐに終わってしまったり、何をしたらいいのかわからない人が多かった。ペア練習の相手がやり方を説明したりしていたが、ちょっと困った様子だったので、フォローした。
- ・普通形は普段使っているだけあって、皆、スムーズに出てくる。
- ・表記
拗音・拗長音復習、語彙の読み練習、ディクテーション3文実施。
表記が苦手な学習者2人は、特になしシート3枚、テキストの文型・例文のページの書き写しを指示。

(10) 目標の達成状況・成果

・プレテストとポストテストの実施

- テストの内容は、文字(ひらがな・カタカナ)、基礎的文法。
文字が早く正確に書けなかった殆どの受講者がポストテストの成績があがっていた。数人の学習者は少しは上達したものの、完全には 50 音を書けないままで終わった。
文法は学んだ内容の定着ははっきり見られた。

・最初のインタビューと終わりのインタビュー

丁寧で正確な話し方を学んだ結果、文末まできちんと答えること、です・ます体で話すことという意識ができてきた。また、最初ほとんど日本語を使わなかった受講者が、終わりのインタビューでは出来る範囲ではあるが日本語で答えるようになっていたことは大きな成果である。日本語は上手になったと思うか、という質問に対しては全員がそう思うと答え、学習することに対する自信ができたようだった。

(11) 改善点について

・正確で丁寧な日本語を目指す、年齢も高く化石化した学習者にはあまり効果がなかった。また、文字(ひらがな・カタカナ)は毎日時間をかけて練習したが、数人の学習者は最後まで50音が覚えられなかった。年齢によるものかもしれないが、文字ができなければ就労には結びつかない、仕事には正しい日本語が必要だという意識が弱かった。区役所からの紹介で受け入れた学習者にこの割合が高かった。就労意識の弱さに困るものかもしれないので、今後はインタビューの時につっこんだ確認が必要だと感じた。またコース中にも就労の現場を伝えるプログラム(ティーチン等)を企画するべきであった。

・「就労・生活のための日本語」は入門期の学習者を対象に行ったが、就労学習期間が短いために、就労まで確実に行きつくだけの内容が盛り込めなかった。しかし、期間を長くすると長期の学習が不得手な人もいる。この兼ね合いを考えて、2期に分けると言う方法が考えられる。

(1) 講座名称 「学校に入るための日本語」

(2) 目的・目標

学校に在学中であるが日本語力の不足により授業についていけない生徒や、母国で中学卒業後に来日し、高校受験がかなわない生徒が、学習日本語を学ぶことにより学科が理解できるようになることを目指す。

(3) 対象者

来日してから正式な日本語教育を受けていない13歳から18歳の外国人生徒

(4) 開催時間数(回数) 60 時間 (全 15 回)

(5) 使用した教材・リソース

作成教材、「みんなの日本語初級2版Ⅰ、みんなの日本語文型練習帳Ⅰ、Ⅱ、ストーリーで覚える漢字300、読み物ピック25(みんなの日本語Ⅰ、Ⅱ)、絵入り日本語作文Ⅰ、文化初級日本語、「みんなの日本語」文法・翻訳英語版、日本語生中継、日本地図、世界地図、国語読解ドリル、日本語読解教材、数学作成プリント、英語問題集、兵庫県高校入試過去問題集、他。

(6) 受講者の総数 28 人

(出身・国籍別内訳 中国15人、フィリピン5人、カナダ2人、ベトナム2人、ペルー1人、コロンビア・日本1人、ブラジル1人、ネパール1人)

(7) 受講者の募集方法

案内・募集チラシを作成し、神戸市内、阪神間のボランティア教室、支援団体、中学校、支援者等に配布。

(8) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者数	講師又は指導者名	補助者数	補助者名	備考
1	平成24年8月6日 9:30～12:10	2.25時間	神戸YWCA会館	15人	中国(12人)、フィリピン(2人)、カナダ(1人)	日本語	1: 自己紹介、文字(あかが行)名詞文(物の名前を言う、所有の文) 2: 自己紹介、て形文型(依頼と指示、許可、禁止等)	2名	齋藤 明子 福井 武司	0名		
	平成24年8月6日 12:20～13:20	1時間	神戸YWCA会館	24人	中国(11人)、フィリピン(5人)、カナダ(2人)、ベトナム(2人)、ブラジル、コロンビア、ネパール、ペルー(各1人)	教科日本語 英語	A:『みんなのにほんご1』和訳練習№1、整序英作文№1、英文読解問題 B: 英文和訳、英作文、読解 C:『みんなのにほんご1』和訳練習、音読、QA	3名	小島 輝代 西岡 美幸 小澤 慈子	0名		
	平成24年8月6日 13:40～16:05	2.25時間	神戸YWCA会館	10人	中国(1人)、ベトナム(2人)、フィリピン(3人)、ペルー、コロンビア、ブラジル、ネパール(各1人)	日本語	自己紹介(自分について述べる) 普通形・普通体の整理 名詞修飾	1名	福井 武司	0名		
2	平成24年8月7日 9:30～12:10	2.25時間	神戸YWCA会館	15人	中国(12人)、フィリピン(2人)、カナダ(1人)	日本語	1: 文字(な～す行)、名詞文(場所を言う、時間の表現)動詞文(時制) 2: ない形の文型(禁止、義務)	2名	福井 武司 齋藤 明子	0名		
	平成24年8月7日 12:20～13:20	1時間	神戸YWCA会館	26人	中国(15人)、フィリピン(5人)、ベトナム(2人)、ペルー、コロンビア、ブラジル、ネパール(各1人)	教科日本語 数学	A: 基本的な計算、基本的な数学のことば B/C: 基本的な言葉の説明、日本語から数式を作る	3名	難波 いけ世 小澤 慈子 良野 鈴子	1名	齋藤 明子	
	平成24年8月7日 13:40～16:05	2.25時間	神戸YWCA会館	11人	中国(2人)、フィリピン(3人)、ベトナム(2人)、ペルー、コロンビア、ネパール、ブラジル(各1人)	日本語	名詞化「の」ことである体	1名	齋藤 明子	1名	小澤 慈子	
3	平成24年8月8日 9:30～12:10	2.25時間	神戸YWCA会館	15人	中国(12人)、フィリピン(2人)、カナダ(1人)	日本語	1: 文字(や～お行、を、ん) 動詞文(往來の表現)、時の言葉(日にも他) 2: 辞書形の文型(可能な表現、～までに)	2名	澤村 典子 福井 武司	0名		
	平成24年8月8日 12:20～13:20	1時間	神戸YWCA会館	27人	中国(15人)、フィリピン(5人)、ベトナム(2人)、カナダ(1人)、ペルー、コロンビア、ブラジル、ネパール(各1人)	教科日本語 社会	A: 世界地理(国名・位置の確認) B/C: 同上(国名とその特色、6大陸3大洋)	3名	藤原 美代子 小川 佐由里 西岡 美幸	1名	齋藤 明子	
	平成24年8月8日 13:40～16:05	2.25時間	神戸YWCA会館	11人	中国(2人)、フィリピン(3人)、ベトナム(2人)、ペルー、コロンビア、ネパール、ブラジル(各1人)	日本語	「のだ」の用法、助詞の重なり	1名	福井 武司	1名	西岡 美幸	
4	平成24年8月9日 9:30～12:10	2.25時間	神戸YWCA会館	13人	中国(10人)、フィリピン(2人)、カナダ(1人)	日本語	1: 文字(ひらがな復習、助詞の使い方) 動詞文の構文の整理(～に他動詞文) 2: 文法の表現(経験、～たり～たり)、読解	2名	齋藤 明子 福井 武司	0名		
	平成24年8月9日 12:20～13:20	1時間	神戸YWCA会館	21人	中国(10人)、フィリピン(5人)、ベトナム(2人)、カナダ、ブラジル、ネパール、ペルー(各1人)	教科日本語 英語	A:『みんなのにほんご1』和訳練習№2、整序英作文№2、英文読解問題、県立高校入試問題 B: 英文和訳、英作文、読解 C: 数字、肯定・否定・疑問文の確認	3名	小島 輝代 西岡 美幸 小川 佐由里	1名	齋藤 明子	
	平成24年8月9日 13:40～16:05	2.25時間	神戸YWCA会館	10人	中国(2人)、フィリピン(3人)、ベトナム(2人)、ペルー、ネパール、ブラジル(各1人)	日本語	受け身形、受け身の表現(非情の受け身を主に)	1名	齋藤 明子	1名	西岡 美幸	
5	平成24年8月10日 9:30～12:10	2.25時間	神戸YWCA会館	14人	中国(11人)、フィリピン(2人)、カナダ(1人)	日本語	1: 文字(鼻音) 動詞文復習、形容詞文 2: 動詞フオームの復習、普通形の確認、～と思います(意見述べ)	2名	萩原 一恵 萩原 一恵	0名		
	平成24年8月10日 12:20～13:20	1時間	神戸YWCA会館	23人	中国(12人)、フィリピン(5人)、カナダ、ベトナム、ペルー、コロンビア、ブラジル、ネパール(各1人)	教科日本語 国語	A: 語彙説明と読解、内容QA B: 読解と書きの練習(～に他動詞文) C: キーワード探し、指示語の練習	3名	小澤 慈子 良野 鈴子 多治比 敦子	1名	萩原 一恵	
	平成24年8月10日 13:40～16:05	2.25時間	神戸YWCA会館	9人	フィリピン(3人)、中国、ベトナム、ネパール、ブラジル、ペルー、コロンビア(各1人)	日本語	受け身と名詞修飾、読解 動詞相当語	1名	萩原 一恵	1名	小澤 慈子	
6	平成24年8月13日 9:30～12:10	2.25時間	神戸YWCA会館	16人	中国(12人)、フィリピン(2人)、カナダ(2人)	日本語	1: 文字(復習) 動詞文(食語つくり)形容詞文(GA) 2: ～とき、～たら～ても(仮定の表現)	3名	福井 武司 齋藤 明子 小川 佐由里	0名		
	平成24年8月13日 12:20～13:20	1時間	神戸YWCA会館	23人	中国(11人)、フィリピン(5人)、カナダ(2人)、ベトナム(2人)、ペルー、ネパール、ペルー(各1人)	教科日本語 英語	A:『みんなのにほんご1』和訳練習№3、整序英作文№3、英文読解問題、県立高校入試問題 B: 英文和訳、英作文、読解 C: 整序文、簡単な場面会話	3名	小島 輝代 西岡 美幸 多治比 敦子	1名	福井 武司	
	平成24年8月13日 13:40～16:05	2.25時間	神戸YWCA会館	8人	フィリピン(3人)、中国、ベトナム、ペルー、コロンビア、ブラジル、ネパール(各1人)	日本語	「および」を使った表現。 適用中止、読解	1名	福井 武司	1名	西岡 美幸	
7	平成24年8月14日 9:30～12:10	2.25時間	神戸YWCA会館	0人		日本語	天雨警報のため休み	0名		0名		
	平成24年8月14日 12:20～13:20	1時間	神戸YWCA会館	6人	中国(2人)、フィリピン(2人)、ベトナム、ネパール(各1人)	教科日本語 国語	C: 内容予測、読解、音読	1名	多治比 敦子	0名		
	平成24年8月14日 13:40～16:05	2.25時間	神戸YWCA会館	6人	中国(2人)、フィリピン(2人)、ベトナム、ネパール(各1人)	日本語	～だろう、～のではないだろうか 読解	1名	萩原 一恵	0名		
8	平成24年8月15日 9:30～12:10	2.25時間	神戸YWCA会館	16人	中国(12人)、フィリピン(2人)、カナダ(2人)	日本語	1: 文字(カタカナ導入)、～わ～が文 2: 名詞化「の」こと、である体	3名	奥 未知留 澤村 典子 小川 佐由里	0名		
	平成24年8月15日 12:20～13:20	1時間	神戸YWCA会館	23人	中国(15人)、フィリピン(5人)、カナダ(2人)、ブラジル、コロンビア、ネパール(各1人)	教科日本語 社会	A: 日本地理(県名・位置の確認) B/C: 同上(日本の国土と気候)	3名	藤原 美代子 多治比 敦子 小澤 慈子	1名	齋藤 明子	
	平成24年8月15日 13:40～16:05	2.25時間	神戸YWCA会館	6人	フィリピン(3人)、ベトナム、ネパール、ブラジル(各1人)	日本語	～ように、～ような(比喩の表現)、動詞相当語、読解	1名	齋藤 明子	1名	小澤 慈子	
9	平成24年8月16日 9:30～12:10	2.25時間	神戸YWCA会館	14人	中国(11人)、フィリピン(2人)、カナダ(1人)	日本語	1: 文字(カタカナゲーム) 存在文(位置を含む)、～は～が文 2: 普通形名詞修飾、読解	2名	齋藤 明子 福井 武司 小川 佐由里	0名		
	平成24年8月16日 12:20～13:20	1時間	神戸YWCA会館	23人	中国(12人)、フィリピン(5人)、カナダ(2人)、ベトナム、ペルー、ブラジル、ネパール(各1人)	教科日本語 国語	A: 語彙説明と読解、内容QA B: 指示語の練習、キーワード探し C: 内容予測問題、読解と音読	3名	小澤 慈子 小川 佐由里 難波 いけ世	1名	福井 武司	
	平成24年8月16日 13:40～16:05	2.25時間	神戸YWCA会館	10人	中国(2人)、フィリピン(3人)、ベトナム(2人)、ペルー、ブラジル、ネパール(各1人)	日本語	接続表現、疑問詞＋か 読解	1名	福井 武司	1名	小澤 慈子	
10	平成24年8月17日 9:30～12:10	2.25時間	神戸YWCA会館	16人	中国(12人)、フィリピン(2人)、カナダ(2人)	日本語	1: 文字(カタカナ 清濁) 助数詞、期約の表現 2: 受け身の表現、読解	2名	萩原 一恵 福井 武司	0名		
	平成24年8月17日 12:20～13:20	1時間	神戸YWCA会館	22人	中国(13人)、フィリピン(4人)、カナダ(2人)、ベトナム、コロンビア、ネパール(各1人)	教科日本語 数学	A: 基本的な言葉の説明、文字式の計算規則の説明 B/C: 基本的な言葉の説明、日本語から数式を作る	3名	難波 いけ世 良野 鈴子 西岡 美幸	0名		
	平成24年8月17日 13:40～16:05	2.25時間	神戸YWCA会館	9人	フィリピン(3人)、中国(2人)、ベトナム、ペルー、ネパール、ブラジル(各1人)	日本語	～ていく／～てくる 読解	1名	萩原 一恵	1名	西岡 美幸	
11	平成24年8月20日 9:30～12:10	2.25時間	神戸YWCA会館	15人	中国(10人)、フィリピン(2人)、カナダ(2人)、ベトナム(1人)	日本語	1: 文字(ディクテーション) 形容詞文(比較の表現) 2: 動詞相当語 読解	3名	奥 未知留 福井 武司 小澤 慈子	0名		
	平成24年8月20日 12:20～13:20	1時間	神戸YWCA会館	20人	中国(10人)、フィリピン(4人)、ベトナム(2人)、カナダ(2人)、ブラジル、ネパール(各1人)	教科日本語 英語	A:『みんなのにほんご1』和訳練習№4、整序英作文№4、英文読解問題、県立高校入試問題 B: 英文和訳、英作文、読解 C: be動詞、所有格、日にかちの表現	3名	小島 輝代 西岡 美幸 天川 啓子	0名		
	平成24年8月20日 13:40～16:05	2.25時間	神戸YWCA会館	7人	フィリピン(2人)、中国、ベトナム、ネパール、ブラジル、カナダ(各1人)	日本語	意向形、意向形＋する、したとき 読解	1名	福井 武司	1名	西岡 美幸	
12	平成24年8月21日 9:30～12:10	2.25時間	神戸YWCA会館	12人	中国(8人)、フィリピン(3人)、カナダ(2人)、ベトナム(1人)	日本語	1: 文字(ディクテーション) 動詞の活用(て形)、～てください(指示・依頼) 2: ～てないで(付帯動作)、適用中止、読解	2名	天川 啓子 萩原 一恵 小川 佐由里	0名		
	平成24年8月21日 12:20～13:20	1時間	神戸YWCA会館	20人	中国(9人)、フィリピン(4人)、カナダ(2人)、ベトナム(2人)、コロンビア、ネパール、ペルー(各1人)	教科日本語 数学	A: 図形の基本的な言葉の説明と練習、 B/C: 図形の概念の基本的な言葉	3名	難波 いけ世 良野 鈴子 小澤 慈子	1名	萩原 一恵	
	平成24年8月21日 13:40～16:05	2.25時間	神戸YWCA会館	5人	フィリピン(2人)、中国、ベトナム、ネパール(各1人)	日本語	接続の表現 読解	1名	萩原 一恵	1名	小澤 慈子	
13	平成24年8月22日 9:30～12:10	2.25時間	神戸YWCA会館	15人	中国(8人)、フィリピン(2人)、カナダ(2人)、ベトナム、コロンビア(各1人)	日本語	1: て形の作り方、～てください(依頼の表現) 2: 理由「のだ」、ために、接続の言葉、疑問詞～か	3名	天川 啓子 澤村 典子 小川 佐由里	0名		
	平成24年8月22日 12:20～13:20	1時間	神戸YWCA会館	21人	中国(11人)、フィリピン(4人)、カナダ(2人)、ベトナム、ネパール、ブラジル(各1人)	教科日本語 国語	A: 作文下書き、発表練習 B: 作文「私の将来」下書き C: 作文指導「私の将来」段落構成の指導	3名	天川 啓子 小澤 慈子 多治比 敦子	1名	齋藤 明子	
	平成24年8月22日 13:40～16:05	2.25時間	神戸YWCA会館	5人	フィリピン(2人)、中国、ブラジル、ネパール(各1人)	日本語	～ことにする／～ことになる 読解	1名	齋藤 明子	1名	小澤 慈子	
14	平成24年8月23日 9:30～12:10	2.25時間	神戸YWCA会館	13人	中国(8人)、フィリピン(4人)、カナダ(1人)	日本語	1: 文字(カタカナ 勘賞、勘賞音) 許可の表現、て形の接続表現 2: 可能動詞を用いた表現	4名	天川 啓子 萩原 一恵 小澤 慈子 小川 佐由里	0名		
	平成24年8月23日 12:20～13:20	1時間	神戸YWCA会館	17人	中国(9人)、フィリピン(5人)、カナダ、ネパール、ブラジル(各1人)	教科日本語 国語	A: 作文清書作業 B: 同上、発表 C: 同上、内容の発展を指導	3名	天川 啓子 西岡 美幸 小澤 慈子	1名	萩原 一恵	
	平成24年8月23日 13:40～16:05	2.25時間	神戸YWCA会館	3人	フィリピン(1人)、ブラジル(1人)、ネパール(1人)	日本語	複合動詞(2) 可能動詞 読解	1名	萩原 一恵	1名	西岡 美幸	
15	平成24年8月24日 9:30～12:10	2.25時間	神戸YWCA会館	10人	中国(6人)、フィリピン、コロンビア、ベトナム、カナダ(各1人)	日本語	1: 動詞活用(辞書形、ない形)、普通体の会話導入 ボストテスト実施 2: 複合動詞、変化の表現、ボストテスト実施	3名	齋藤 明子 萩原 一恵 小澤 慈子	0名		
	平成24年8月24日 13:40～16:05	2.25時間	神戸YWCA会館	5人	カナダ、ベトナム、フィリピン、ブラジル、ネパール(各1人)	日本語	～ようになる(変化の表現) ボストテスト実施	1名	萩原 一恵	0名		

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

第1日 3クラス

- ・学習するに当たり、動詞、い形容詞、な形容詞、名詞、接続詞などの品詞名、また名詞修飾、連用中止、普通形、丁寧形などの文法用語を、一枚にまとめて、翻訳をつけて渡した。A3 サイズの用紙も教室に貼った。品詞の区別についてはこれまで意識したことのない人も散見されたため。しばらくの間品詞名を言った際は反応を見る必要がある。
- ・「なければなりません」の普通形を「せなあかん」と書いている生徒もいた。生活日本語が定着していることが窺われる。
- ・文法は文章によく表れる、名詞修飾を確認し、それを使った文章の読解の実施。
文法に関しては、やや消化不良。なぜこれをするのか、文章の中でどのように表れているのかをきちんと伝えてから始めるべきであった。

第4日 2クラス

- ・～たり～たり します／しました／しなければならない／してはいけない／することができます。などの文型の確認。これらは既習でよく知っていた。後続句は一通り入れた。キューを与え、全体で文を考えたり、ペアで作らせたりした。どんどん作れた生徒に交じって、最初は低調だった生徒も、ゲームの要素を入れるとどんどん作るようになった。
- ・読み物 L17,18 読解。音読は棒読みながらも確実に読める生徒もいる。しかし、発話につながらないのは残念である。他の生徒もそこそこ読めた。内容読解に関しては、かなりあやふやな理解にとどまる生徒がいる。そのため、正答を選べない問題が結構あり、理解力、読みの正確さに課題が見つかった。
- ・週末の宿題に読解を出す。その際、分かち書きをやめ、普通体にリライトするといった工夫が必要だろう。学校のテキストに慣れるためという目的をきちんと伝えたくて宿題に出すなどすることが必要だ。

第1日 1クラス

・自己紹介

「～から来ました」ができない生徒は、「国は～です」に変えて話す。

・表記は、ひらがなの「あかがさ行」。ざ行には進めなかった。

以下の語彙の意味と書きを練習した。あい、あか、あお、いけ、いえ、うえ、かさ、すし、すいか、せかい、かぎ、きかい、

・文型 すべてオーラルで聞く・話すを重点的に。

～は ～です／ ～じゃありません ／ も ～です、これ、それ、あれ

「これ」「それ」を対立領域と理解せず、共通領域のみの用法として理解している生徒がほとんどである。改めて、対立領域の用法を指導した。日常的に耳からきいたことを思いこんでいることが多いようだ。ゼロではなく耳からだけ日本語が入っている生徒に多くみられる。

使用名詞： 鞆、かさ、本、鍵

上記の文法を理解したあと、以下のやりとり。

これは何ですか。／これは所有のNです。

耳から入った日本語を知っているケースがほとんどであるので、構造を理解し構文で考え話すこ

とが難しい生徒が多い。

・数字 ゼロ～99

数字の読み方のシステムを理解するとどんどんいえるようになった。最後に携帯番号を言い合う練習を実施。



(10) 目標の達成状況・成果

・プレテストとポストテスト

日本語力を知るために、授業開始日にプレテストを、終了日にも同じ内容のポストテストを実施した。内容は基礎的な日本語文法と日本語読解の 2 種類。前者で基礎力の定着度を、後方で応用力の伸びを測った。これは復習テストではなく、実力試験形式で行った。大きな伸びが見られたのは日本語力が低いクラスの学習者で、逆に力を持っていた学習者に関しては前者ほどの伸びは見られなかった。いずれにしてもこの 3 週間の効果はあったと言える。

・最初のインタビューと終わりのインタビュー

勉強が楽しかったかどうか、という問いにはほとんどの学習者が「楽しかった」と答えた。居場所としての楽しみ、わかる日本語で学習できることの喜びが感じられた。科目別にみると、数学や英語など初めから苦手な科目はあまり評価が変わらなかった。

(11) 改善点について

ここ何年か「学校に入るための日本語講座」を実施してきて、今年度は明らかに感じた変化がある。それは学習者の求めるものの変化である。参加者のうち 1 割ほどに、現在学校の授業についていっているが、よりよい成績をあげるために参加した、という意識が見受けられた。

例えば漢字学習であるが、この講座の目指すものは表意文字である漢字の働きを意識させ、熟語を作れる生産性の高さを教えることである。これは読解にも必要なスキルであるとする。しかし、数人の学習者はがむしゃらにたくさんの漢字を覚えることを目的とし、漢字本来の働きには興味を示さなかった。また読解の場合も、読み方のスキルの練習を目指したが、同様にすぐに適当な答えを書いてよしとする、という態度が見受けられた。学校の授業についていくために努力した結果、身につけてしまった習慣なのだろうか。

この点に関し、カリキュラムの見直しを迫られたが、本来の目的から考えると、対象者のレベルを下げてコースを設定したほうがいいのか、と思われる。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称 「日本語ボランティアのためのスキルアップ講座」

(2) 目的・目標

効果的な日本語の教え方、また日本語の背景にある文化や習慣、考え方をなどの伝え方を学び、それを通して、外国人が日本で生活するために何が必要かを考える視点を身に付ける。

(3) 対象者

日本語ボランティアを始めたい人、すでに始めている人。

(4) 開催時間数(回数) 25 時間 (全 8 回)

(5) 使用した教材・リソース

「みんなの日本語 I」、YWCA 作成教材、「中級へ行こう」、話題カード 他

(6) 受講者の総数 24 人 (出身・国籍別内訳 日本 24 人)

(7) 受講者の募集方法

案内・募集チラシを神戸市内、阪神間の日本語ボランティア教室等に配布。

(8) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者数	講師又は指導者名	補助者数	補助者	備考
1	平成24年8月21日 10:30~13:00	2.5時間	神戸YWCA会館	24人	日本(24人)	開講式。講義	日本語と国語の違い、教え方について 生徒の日本語、大人の日本語授業の目指したもの	1名	斎藤 明子	1名	福井 武司	みんなの日本語 I
2	平成24年8月23日 10:30~16:00	4.5時間	神戸YWCA会館	23人	日本(23人)	生徒の日本語の教え方を見学し学ぶ	生徒の学習背景、 学習言語と生活言語の違い、 授業見学、授業FB、	1名	斎藤 明子	1名	西岡 美幸	YWCA作成教材
3	平成24年8月28日 10:30~13:00	2.5時間	神戸YWCA会館	19人	日本(19人)	日本語を学ぶ人の背景と 支援課題 支援者の言葉のコントロール	日本でクラス人々の様々な背景、生活上の問題点、 ワークショップ「背景から話題を考える」 限られた文型と語彙で話すトレーニング	2名	北村広美 斎藤 明子	1名	西岡 美幸	みんなの日本語 I
4	平成24年9月4日 10:30~13:00	2.5時間	神戸YWCA会館	20人	日本(20人)	文法習得のための流れ	自然な流れの会話ができるようになるためのプロセスを学ぶ	1名	斎藤 明子	1名	福井 武司	みんなの日本語 I
5	平成24年9月18日 9:30~12:00	2.5時間	神戸YWCA会館	21人	日本(21人)	大人の日本語の教え方を見学し学ぶ	成人学習者の学習背景を知る 授業見学、授業FB	1名	福井 武司	1名	服部 とし子	YWCA作成教材
6	平成24年9月25日 10:30~13:00	2.5時間	神戸YWCA会館	20人	日本(20人)	初級と中級の違い 中級の授業の流れ	中級授業の流れ、中級文型の練習のさせ方	1名	奥 未知留	1名	斎藤 明子	中級へ行こう
7	平成24年10月2日 10:30~13:00	2.5時間	神戸YWCA会館	17人	日本(17人)	中級の教え方	読解授業の方法、日本語能力試験の教え方	1名	奥 未知留	1名	西岡 美幸	中級へ行こう
8	平成24年10月9日 10:30~13:00	2.5時間	神戸YWCA会館	16人	日本(16人)	中級の教え方教え方 講座のまとめ	日ごろのボランティアの疑問点について答える 教材紹介、日本事情、講座のまとめ。 修了式	1名	斎藤 明子	1名	西岡 美幸	日本語これだけ、 話題カード他

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

・第2回

子どもの日本語の教え方を学ぶ。同時に開催されている「学校に入るための日本語」の2つのクラスの日本語授業を見学して意見交換を行う。あらかじめ、クラスの目的、対象者、期間、内容などについてレクチャーを受けた上で見学に入った。

①見学1 クラス2『日本語』3コマ目 11:25～12:10

可能動詞(2) 1・2コマ目で可能動詞(1)ー可能動詞の作り方、用法1(能力)ーを学習済み。(2)では用法2(可能)を学び、その用法を含んだ読解練習。

②見学2 クラス3『日本語』1コマ目 13:50～14:30

複合動詞(2)を学び、その用法を含んだ読解練習。

③ 振り返りと共有

会話で読解を行うという授業スタイルを改めて確認。教師のにこやかな対応となごやかな雰囲気、学習者の参加度の高さに注目が集まった。説明スタイルでは生徒の参加度が低くなることの確認を行った。

・第8回(最終回)

最終日のため、この講座から出てきた質問、日頃の日本語ボランティアとしての活動で解決できない問題などを出し合って話し合った。

文法面では、文法を体系的に学ぶのが難しいので、よくわかる質問集があれば教えてほしいとの質問があり、話題カード ガイドブック(神戸 YWCA PTC 研究会)等を紹介した。

カリキュラム面では、・中級の学習者に敬語をどうやって教えるのか。どこまで教えるのか。また、敬語を使用すべきなのはどんな場面かが出され、話し合った。敬語学習は聞いて分かるために必要であって、外国人生活者が話すには、文法面よりも待遇表現の判断が難しいので、「です・ます」で丁寧度は十分であると結論が出た。

次いで、ゼロ初級の学習者が生活するのにすぐに役立つ生活日本語を学ぶ方法について質問があった。生活にどんな言葉が必要か、から考え、「なでしこジャパニーズ」(KFC)、「日本語これだけ」(ココ出版)などを紹介した。

教え方 では、媒介語を使うべきか、会話のさせ方等について、日本事情については政治的な話しをどうすればいいか、等について話し合った。



(10) 目標の達成状況・成果

最後にアンケートを実施した。

1)この講座のカリキュラムは適切でしたかという問いには、全員が①非常に適切 ②おおむね適切 と答えた。

2)役にたった内容については、複数回答で①初級のおしえかた ② 授業見学 が80%程度、③ 中級のおしえかたが70%程度だった。

3)今後、聞きたい内容については、中級以上の教え方が希望が多く、会話や発音にも回答があった。なお、開講回数については、「ちょうどよい」がほとんどだったが「少なかった」、という回答もあった。「多かった」はなかった。

ほかではあまり見るチャンスがないため、授業見学ができてよかったという意見も多かった。

(11) 改善点について

・主に就労・生活、学校のための日本語という範囲にしぼったブラッシュアップ講座だったため伝える内容が多く、基本的な教え方についての演習・実習などに費やす時間があまりなかった。このような講座は、座学ではなく実習が伴ってこそよく理解できるものである。授業見学があり、小さい演習は毎回行ってはいるものの、まとまった長さの演習ができなかった。今後はそれも含めたプログラムを考えたい。

・時期的なこともあり、全回出席できないが参加したいという希望が多かった。受け入れたが、やはり全てで一講座という考え方に立って、全日参加を条件としたい。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称

I 学校にはいるための日本語教材

II 就労・生活のための日本語教材

(2) 対象

I 日本の学校に入るため、あるいはすでに学校で学んでいるが授業についていけない生徒

II 仕事に就きたい、より質の高い生活を希望する成人学習者

(3) 目的・目標

I 生活言語は友だちとの交流でできていても、学習するための学習言語は日本語の構造から学ばなければ身に着かない。この教材は、日本語教育の考え方に立ち、しかも効果的に学習言語を学ぶことを目的とした。

II 生活者に必要な日本語学習は、短期間で日本語の構造を理解し、正しく丁寧な日本語の運用力を身につけることである。それには、既存のテキストは合わない場合が多い。この教材は、構造を認識させつつ、優先順位の高い文法項目を使って、運用力を高めることとお目指したテキスト作成を目的とした。

(4) 構成

I 部 学校にはいるための日本語教材

各項目ごとに文法理解を行ったあと、それを含む読解材料を複数個作成した。

II 部 就労・生活のための日本語教材

日本語がゼロの場合の教え方から入り、文字学習も並行して行うようにカリキュラムもヒントとして示した。まず支援者のために各項目の指導方法を提示し、次ページで学習者のためのハンドアウトをおいた。この2種類で1セットとなる。文字学習のページでは、練習シートもつけた。学習時間の大体の目安として、1課を1回でこなすように設定してある。

(5) 使い方

- I 部 各項目ごとに文法理解を行ったあと、それを含む読解を実施する。読解問題は難易度順に設定されているので、全て実施する必要はない。学習者に合わせる。読後、答え合わせに終わらず、複雑な文の構造の確認、内容に関する意見交換を行う。これらによって、読む技能だけではなく、常に「話す」「聞く」のう技能を使うよう仕向ける。
- II 部 学習者にはハンドアウトを渡し、指導のヒントに従って実施する。文字学習も並行して行い、練習シートを使用する。

(6) 具体的な活用例

- I ボランティア教室で学習日本語を学ぶべき生徒に使用する。初級後半の日本語テキストを使用するより、この教材のほうが効率的であると考え。また、学校現場において、取りだし授業など日本語だけを学ぶチャンスがあれば、使用できる。またフォローがあれば、宿題としても効果があるだろう。
- II ボランティア教室において、市販のテキストの代わりに支援者が使用できる。指導法のページでは、日本語の構造にフォーカスが当たった考え方や、さまざまな具体的なアイデアが入っているので、1回に1課を十分こなせるだろう。

(7) 成果物の添付

添付資料 教材 I&II 参照

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

日本は多文化共生の時代に入っている。さまざまな国籍の外国人との共生により、日本社会は新しい局面を開くことができるだろう。地域に生きる外国人が、日本での生活に必要な日本語を習得し、また地域のNGOや行政の支援を受けて、自立して生活できるようになることを目指す。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

運営委員会のメンバーである、区役所生活保護課・労働局ハローワークからは、外国人生活者の現在の状況及び自立するために必要な講座内容のヒントをいただき、それをカリキュラムに生かすことができた。アドバイスにより、毎日ではなく、週3日のスケジュールで行ったが、結果としてよい学習リズム、生活習慣が身に着いた。

「学校にはいるための日本語」では、運営委員会のメンバー水野氏から、より効果的な教育内容のためのアイデアを頂き、カリキュラム作成に生かした。また、学校、各ボランティア教室に通う生徒たちが多く参加したが、日本語が不自由な外国人生徒を学校や地域が連携し、夏休みの3週間のこの講座を利用することで役割分担して支援していこうという姿勢になってい

る。3 週間、主に日本語を毎日勉強する効果は大きい。生徒たちがボランティア教室や学校に戻ってから、以前より日本語がわかるようになり学習に前向きになっているとの報告もある。

上記2つの講座には神戸YWCAの作成教材を使用し、市販のテキストではニーズに合わない部分を補った。これにより目指している日本語教育がより効果的に行えた。

「ボランティアのためのブラッシュアップ講座」には、現在各教室で実際に教えている支援者たちが多く参加した。この講座で、年少者のための日本語、就労に役立つ日本語などの分野における日本語教育の考え方を伝えた。神戸YWCAで学んだ生徒、成人学習者が引き続き学べるのは、地域のボランティア教室である。同じ考え方、やり方で学べたら効果も大きい。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

生活日本語に必要なシラバスが網羅されており、いくつかの項目を使用した。しかし、カリキュラム案のレベルが「就労・生活のための日本語」コースの学習者に合わなかったため、内容は部分的に使った形になっている。イラストや写真が豊富で、それらは非常に役に立った。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

上記(2)でも述べたが、運営委員会のメンバーである、区役所生活保護課・労働局ハローワークからは、外国人生活者の現在の状況及び自立するために必要な講座内容のヒントをいただき、この講座が必要な学習者への広報もお願いした。終了後には、より具体的に学習者のモチベーションを高めるためには、長期的、段階的に学べるコースの設定が必要であるなど、現場ならではの意見を頂いた。行政と神戸YWCAのこのような連携によって、地域で暮す外国人支援に役立つネットワーク作りができた。同じく、運営委員会のメンバーである、水野氏からは、実施後の動き方のヒントを頂いた。大学研究者である氏により、上記ネットワークでの協力をもとにした、より就労につながるための冊子作りなどのアイデアを頂いた。また、生徒たちのより効果的なカリキュラム作成のためのアイデアも頂いた。

「学校にはいるための日本語」において、以下に後援あるいは広報をお願いした。兵庫県国際交流協会、神戸市教委、県教委、県こども多文化共生センター。また以下に広報をお願いした。市内のボランティア教室、いくつかの中学、夜間中学。この講座の参加者は、以上の機関から紹介されてきた生徒がほとんどを占めた。日本語が不自由な外国人生徒を学校や地域が連携し、夏休みの3週間のこの講座を利用することで役割分担して支援していこうという姿勢になっている。

「ボランティアのためのブラッシュアップ講座」には、現在各教室で実際に教えている支援者たちが多く参加した。この講座で、年少者のための日本語、就労に役立つ日本語などの分野における日本語教育の考え方を伝えた。神戸YWCAで学んだ生徒、成人学習者が引き続き学べるのは、地域のボランティア教室である。同じ考え方、やり方で学べたら効果も大きい。初期日本語は正式に受け、その後は地域のボランティア教室という連携が可能になるだろう。

最終運営委員会において、いずれのメンバーからも、このような連携が今後もっと必要になるとの意見が出された。今回、行政に日本語の現場を知ってもらったことは、これからの連携に大きな力になると思われる。

(5) 改善点, 今後の課題について

このネットワークは緒に就いたばかりだが、今回出てきた多くの提言、アイデアを生かしてより効果のある支援を模索していきたい。可能なものは、次年度の計画に生かすつもりである。

今回、学校の協力は大きかったが、日本語の必要性を認識している個々の教師による協力がほとんどである。学校自体との連携を目指したい。

(6) その他参考資料

資料 1 「日本語ボランティアのためのスキルアップ講座」アンケート様式